

目次

目次／編集方針	1
ご挨拶	2
経営面における取り組み	
●会社概要／事業概要	3～4
●企業理念／スローガン	5
●コンプライアンス／リスク管理への取り組み	5
●トピックス	5
・栃木工場厚生棟の建設	5
・ビジョニング・プロジェクトの実施	5
環境面における取り組み	
●環境方針	6
●環境マネジメント推進体制	7
●ISO14001認証取得状況	7
●54期の活動内容と実績	8
●トピックス	9
・温室効果ガス排出量の削減	
・環境負荷低減商品の拡販を開始	
・環境会計への取り組み	
・業務に則したプラス環境側面への取組	
・カーボンフットプリントへの取り組み	
●54期の実績	10～18
社会面における取り組み	
●お得意先とのかかわり	19
●従業員とのかかわり	20
●その他利害関係者とのかかわり	21
今後の活動について	22

編集方針

株式会社カナエの54期環境報告書は、より多くの方々に弊社の環境保全活動の実態をご理解していただきたいという目的で作成いたしました。

報告書の対象となる事業所は、本社、東京支店、名古屋営業所、富山営業所の4事業所と大宮工場、栃木工場、神戸工場、愛媛工場の4工場です。

52期より環境に関する報告だけでなく、弊社の社会的責任に関しても少しずつではありますが、報告して参りました。

54期報告はさらに社会的責任に関する内容を充実させたものと致しました。

今後とも弊社へのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

【対象期間】

2008年10月21日～2009年10月20日

【報告書に関するお問合せ先】

株式会社カナエ 経営企画部

Tel:06-6954-7151 FAX:06-6954-7196

ご挨拶

弊社も設立からお蔭様で55年を迎えることができました。

これも、ひとえにお客様、取引先様を初めとする皆様方のご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。

その期間のうち、弊社が環境への取り組みを始めましたのは、2001年からであります。

ISO14001の認証を2002年に取得し、約10年経過しております。その間、経営環境も大きく変貌するとともに、環境に対する世の中の考え方も変化し、多くの企業にとって、環境配慮が不可欠な経営課題となっております。

弊社の本業は「パッケージ(包装)」であります。「包装」というものは、使用するまでは内容物の安全、安心を保証する役目を果たしておりますが、使用後はすべて「ごみ」になってしまいます。

弊社の企業の使命としては、使用後のことも常に考えて、いかに地球環境にやさしい包装を生み出すかであります。

弊社のこれからの課題はこれまで培ってきた各種の包装技術の活用や国内外の新しい技術の導入によって「環境保全」に対して積極的に取り組み、当社の重要な社会貢献のひとつにしていくことと考えております。また、この取り組みは、企業が継続していくためには避けて通れないものであります。

さらに、現在、企業に問われていることは、環境だけでなく、環境をも含む「企業の社会的責任」であります。そのような社会的背景のもと、来期からは、現在の「環境報告書」を「CSR報告書」に発展させたいと考えております。

弊社の社会、安全、安心、環境への取り組み、報告書の内容等に関しまして引き続き皆様方からの忌憚のないご意見、ご助言を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
岡本 邦昭

会社概要

株式会社 カナエ

設 立 昭和31年3月29日
資 本 金 3億5,381万4,600円
代 表 取 締 役 岡本邦昭
従 業 員 数 383名(平成21年10月現在)
営 業 品 目 包装資材・包装機械の開発販売、包装受託加工、受託製造

本社・支店・営業所・工場所在地

本 社	大阪市旭区高殿4丁目16番11号	TEL: 06(6954)7151
東 京 支 店	東京都中央区八丁堀4丁目11番5号	TEL: 03(5566)4811
名 古 屋 営 業 所	名古屋市北区田幡2丁目5-12	TEL: 052(915)3371
富 山 営 業 所	富山市布瀬町南2丁目10番14	TEL: 076(492)8708
流 通 セ ン タ ー	大阪市城東区今福西6丁目9番27号	TEL: 06(6932)6231
包装技術開発研究所	神戸市中央区港島南町5丁目2番7号	TEL: 078(306)6046
神 戸 工 場	神戸市中央区港島南町5丁目2番7号	TEL: 078(306)6041
栃 木 工 場	栃木県真岡市寺内599-4	TEL: 0285(80)1881
大 宮 工 場	大阪市旭区高殿4丁目15番12号	TEL: 06(6954)7160
愛 媛 工 場	愛媛県四国中央市川滝町下山2326番地の5	TEL: 0896(59)4326

事業概要

総合包装企業

カナエは総合包装企業として包装に関するあらゆる課題をトータルサポートする、独自のビジネスモデルを有しております。

① 3つのチカラで、安心を包む

包装材料、包装加工、包装機械。私たちは、この3つが調和してはじめて「商品」が完成すると考えています。

包装材料メーカーとのネットワークや各種情報の分析・提供力に加えて、研究開発部門、受託包装加工の専用工場を保有しているのはそのためです。

また、カナエエンジニアリング、カナエテクノス、カナエシーエスバックとのグループの強みを生かした連携により、包装へのトータルなアプローチを実現しています。

② 環境包装への取り組み

企業活動そのものが地球環境問題に直結している私たちにとって「環境包装」への積極的取り組みは使命であると考えています。

カナエでは環境方針を策定し、2002年の関東地区（東京支店、栃木工場）を皮切りに、本社を含む全部門で環境マネジメントシステムを構築、ISO14001の認証を取得しました。

さらに「環境包装プロジェクト」を発足して、新たな環境包装製品の研究開発などを積極的に行っています。



事業概要

1 包装材料 ～「包む」をコーディネート～

ニーズを多角的に分析し、最適なパッケージをご提案します。

豊富なケーススタディが身近にあること。包装加工、包装機械を自社で手がけるカナエの強みは、独自のパッケージ対応にも活かされています。

お客様のニーズを軸に、包装材料の設計から包装形態、安全衛生、さらには生産システム適性にいたるまで、包装の全プロセスを多角的に分析。蓄積した情報とノウハウを活かして、最適なパッケージング提案をおこなっています。

また、国内外500社以上のメーカーとのネットワークにより、多彩な包装材料を安定供給。

オリジナルの新規包装材料・形態の企画提案や、各材料メーカーとの共同開発を通じて、市場にはないユニークなパッケージの創出にも力を注いでいます。



2 包装加工 ～「包む」をカタチに～

独自のノウハウ技術で商品価値を高める包装加工業務

お客様から委託を受け、包装加工をおこなうコントラクトパッケージング（受託包装）と、最終製品まで仕上げるコントラクトマニファクチャリング（受託製造）。いずれにおいても、カナエの各種業態許可を得た技術力、品質管理力、生産能力が最大限に活用されています。

分野ごとに独立した包装加工工場を保有し、最新の設備と厳しい品質管理のもと、PTP包装、ストリップ包装、三方・四方シール包装、スティック包装、特殊包装など、多種多様な形態の包装加工に対応しています。



3 包装加工 ～「包む」をバックアップ～

現場の声と「ものづくり」が直結

「使用する立場、視点」に立った提案が、カナエの包装機械事業の大きな特長です。

包装材料との適性や内容物の特性に加え、使用段階で生じやすい不具合や使い勝手を、包装加工事業での経験・ノウハウに基づいて徹底的に吟味。機械と包装材料の専門スタッフを交え、加工・包装工程を主体とした製造工程に最適なシステムの企画、設計をおこなっています。

有力包装機メーカーの包装機械の販売とともに、独自に企画・設計した包装機製作にも取り組み、システム・エンジニアにおけるトータルサポートを実現しています。



企業理念・スローガン

カナエは企業としてのあり方を示す「企業理念」、「スローガン」を制定しています。

企業理念

- 顧客第一主義に徹する
- 健康と豊かな生活を創造し、社会に貢献する
- 情報と知恵を活かし、顧客満足を創造する
- 社員の人生の充実を重んじ、希望と誇りと働き甲斐のある企業にする
- 地球環境保全をベースとした企業活動を行う
- 企業の社会的責任を果たしていく

スローガン

- お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる

1 コンプライアンスとリスク管理への取組の現状

カナエでは52期に経営基本方針に「コンプライアンス」を追加、53期には企業理念に「企業の社会的責任を果たす」を追加し、企業の姿勢を明確にしました。

コンプライアンスでは法令順守のみでなく、各部門で守るべきルールを決め、「決められたルールは必ず守る」という風土の醸成を行っています。
リスク管理としては、ハード面におきましては、関東地区の栃木工場に加え、関西地区の神戸工場の体制の整備が完了しております。また、ソフト面におきましても「新型インフルエンザ対策」としての社内・家庭向けのマニュアルの作成、各種必要備品の備蓄への対応、また社員の安全対策として社員全員への安全靴及びヘルメットの配布も実施いたしました。



新型インフルエンザ対策
(健康チェック)

2 トピックス【経営面における取り組み】

◇栃木工場厚生棟の建設

関東地区の生産拠点として平成12年に栃木工場を建設しましたが、その後の生産規模の拡大及び人員の増加に対応すべく、新たに厚生棟（『鉄筋3階建』『建築面積414㎡』『延床面積1,161㎡』）を建設いたしました。これまで工場の中にありました食堂、更衣室、事務室などを厚生棟に集約するとともに、作業管理用の事務室3室を1室に一元化し、情報の共有化を図りました。

◇ビジョニング・プロジェクトの実施

将来の経営を担っていく部長のメンバーで、外部講師の指導のもと10年後の当社の新規事業を考えるプロジェクトを約1年間実施いたしました。そのプロジェクトを通じて、戦略の考え方や経営者としての心構えなど数多くのことを学ぶことができ、今後の事業運営に活かしていきます。



栃木工場（栃木県真岡市）

環境方針

カナエの環境に対する考え方を著した文書として「環境方針」を記載します。

環境理念

当社は、＜豊かな自然に恵まれた地球＞、その環境を永遠に保っていくことが我々人類の果たすべき使命であると自覚し、環境に配慮した製品造りを行い、良き社会の一員として地球環境の保全に努めます。

行動指針

1) 総合包装企業として包装資材、包装機械の開発販売並びに受託包装加工を事業としている当社は、地球の温暖化、廃棄物による地球の荒廃等の地球環境をとりまく諸問題を真摯に受け止め、当社の企業活動から生じることした環境汚染の発生を予防し、環境への影響を可能な限り減少させるための改善に努力します。

- ①省エネルギーの推進
- ②環境配慮製品の拡販と開発
- ③廃棄物の削減とリサイクル化の推進
- ④業務効率化等プラス側面への取り組み
- ⑤グリーン購買、調達の推進

上記事項の改善のため環境目的及び目標を設定し、その実現に向けた改善プログラムを策定、実施します。

そして定期的にその達成度を確認し、その見直しを図り、これにより環境保全のため継続的改善に努めます。

2) 当社は、事業活動に伴い適用されるあらゆる環境関連の法規制及び当社の同意した環境上のその他の要求事項を順守します。

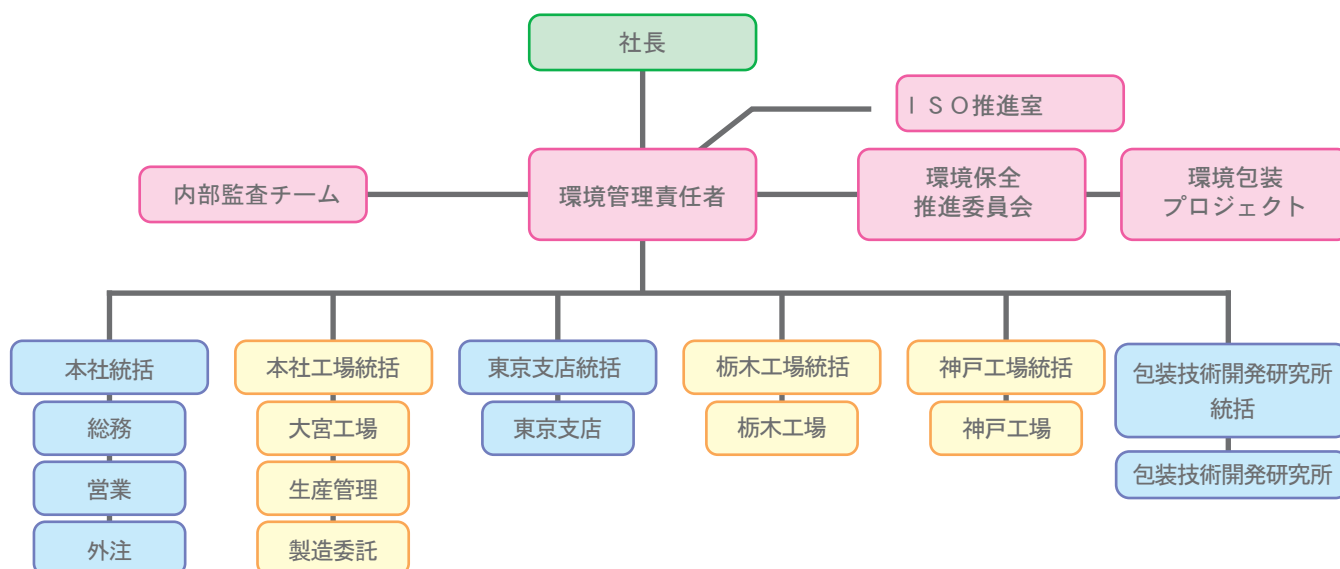
3) 当社は、この環境方針を全従業員又は当社のために働く全ての人に周知徹底させるために教育啓発活動を実施します。

4) 当社は、一般の人からの要求に応じこの環境方針を提供します。

環境マネジメント推進体制

環境保全推進組織

カナエは環境保全推進活動を実施する上でその推進母体となる「環境保全推進組織」を構築しています。



ISO14001認証取得状況

カナエがISO14001認証取得を目指して活動を開始したのは2001年5月でした。

それ以降のISO14001の認証取得の経緯を次に紹介します。

年 月	経 緯
2002年 3月	関東地区（東京支店、栃木工場）にて初めて認証取得
2003年 3月	本社部門（関東地区を除く全部門）にて認証取得
2004年 3月	関東地区と本社部門を統合し、株式会社カナエのEMSを構築
2006年 3月	初めての更新審査を受審し、認証継続が承認される。
2009年 2月	2回目の更新審査受審予定

5 4 期の活動内容

工場、オフィスの環境保全活動

カナエの工場、オフィスは5 4 期において下記の環境保全活動を実施しました。

■ 工場の環境保全活動

- | | |
|-------------------------|--|
| ●省エネの推進 | 1. 温室効果ガスの排出量削減
2. 使用電力の削減
3. 省エネ設備の導入推進 |
| ●廃棄物排出量の削減と
リサイクルの推進 | 1. 環境汚染物質管理
2. 廃棄物の削減 |
| ●グリーン購入の推進 | |
| ●プラス側面への取り組み | 1. 機械稼働効率の向上
2. 資材収率の向上
3. 作業の合理化 |
| ●法規制その他の要求事項の順守 | 1. 適用される法規制の順守 |

■ オフィスの環境保全活動

- | | |
|-------------------------|--|
| ●省エネの推進 | 1. 温室効果ガスの排出量削減
2. 使用電力の削減 |
| ●廃棄物排出量の削減と
リサイクルの推進 | 1. 環境汚染物質管理
2. 廃棄物の削減
・不良在庫金額の削減
・分別収集の徹底
・コピー用紙使用量の削減
・コンピューター用紙使用量の削減 |
| ●環境配慮製品の拡販と開発 | 1. 環境負荷低減商品の拡販
2. 環境負荷低減商品の開発 |
| ●グリーン購入の推進 | |
| ●環境教育啓発活動の推進 | 1. 社内環境教育の推進
2. 仕入先、委託先の環境保全活動推進のための教育啓発
3. 運送委託車、仕入先運送車への環境負荷低減要請 |
| ●プラス側面への取り組み | 1. 委託先の資材収率向上
2. 環境会計導入への取り組み
3. 配送便の効率運搬への取り組み
4. 5 S による廃棄物削減啓蒙活動 |
| ●法規制その他の要求事項の順守 | 1. 適用される法規制及び利害関係者からのその他の要求事項の順守 |

5 4 期の活動内容

トピックス

①温室効果ガス排出量の削減

神戸工場では現場従業員からの提案活動により省エネ設備の導入について検討開始しました。

②環境負荷低減商品の拡販を開始

営業部門ではお得意先様に向けた環境負荷低減商品の提案と拡販を開始しました。



③環境会計への取り組み

今期より新たに環境会計への取り組みを開始しました。

5 4 期は栃木工場で運用できる体制づくりとスタートに先立つ準備が完了し、5 5 期の活動開始に向けた体制が整いました。

④業務に則したプラス環境側面への取組

カナエでは環境マネジメントシステムを継続して改善してゆくためには業務に則したプラス環境側面への取り組みが不可欠と考えています。

5 3 期に2件のプラス側面への取り組みを実施し、この5 4 期は5 部門で8 件のプラス側面への取り組みを実施致しました。

効果はまだ充分とはいえませんが、効率化、合理化に繋がる内容で廃棄物削減及び工場における人員削減等に効果をあげました。

継続的に改善が可能な活動であるため毎期目標を定め、前進してゆきたいと考えています。

5 5 期には全部門が最低1 つはプラス側面への取り組みができているという状態を目指し、努力してゆきたいと考えています。

⑤カーボンフットプリントへの取り組み

カナエの工場では包装加工を行っています。その包装加工品が「原料調達」から「廃棄」までにどの程度CO₂を排出しているかを明確にすることは、企業としての社会的責任と考えます。

そのため、CO₂排出量算定のための知識修得を目的に「カーボンフットプリント日本フォーラム」に入会し、当社包装加工品のCO₂排出量算出に向けての準備を開始しました。

5 4 期の実績

活動経過報告

- ・ 定期審査

5 4 期は更新審査 2 回目の年で審査を受審しました。

その結果、軽微な不適合事項は無く、「改善の機会」を 1 0 件指摘されましたが、当社の E M S は引き続き、I S O 1 4 0 0 1 規格に適合していると判定され、認証の継続が認められました。

- ・ 環境保全推進委員会の開催

推進委員会の構成メンバーは環境管理責任者、統括責任者（6 名）、I S O 推進室室長、I S O 推進室事務局（2 名）の計 1 0 名です。

5 4 期は 3、6、8 月に計 3 回開催しました。

主な議案は下記の通りです。

3 月

- ・ 外部定期審査結果報告
- ・ 推進メンバーへの手当制度について協議
- ・ 環境保全活動優秀部門表彰の対象基準打合せ
- ・ カーボンフットプリントへの対応について打合せ

6 月

- ・ 前回委員会懸案事項の報告
- ・ I S O 推進組織変更についての打合せ
- ・ 半期レビュー結果の見直しについて協議
- ・ 改正省エネ法対応の部門周知。
- ・ E M S 活動の I T 化への変更協議

8 月

- ・ トップマネジメントレビュー結果報告及び内容協議
- ・ 環境管理組織変更についての打合せ
- ・ 次期全社目標についての協議
- ・ 改正省エネ法関係の状況及び、対応協議
- ・ 次期に向けての部門の環境影響評価以降の活動要請

- ・ 部門長会議の開催

5 4 期も 5 3 期に続き、内部コミュニケーションを充実させるため各部門（本社、本社工場、東京支店、栃木工場、神戸工場）において月 1 回のペースで開催しました。

毎回、部門長、副部門長より実績の報告があり、特に目標が達成できてない活動については出席者よりいろいろな提案がなされ、活動の改善につながりました。

5 4 期も有意義な話し合いができました。

- ・ 部門会議の開催

部門長と部員のコミュニケーションを図る場となる部門会議も各部門、月 1 回のペースで開催しました。

依然としてコミュニケーションがスムーズに行われている部門と不十分な部門があり、来期以降も課題を残すこととなりました。

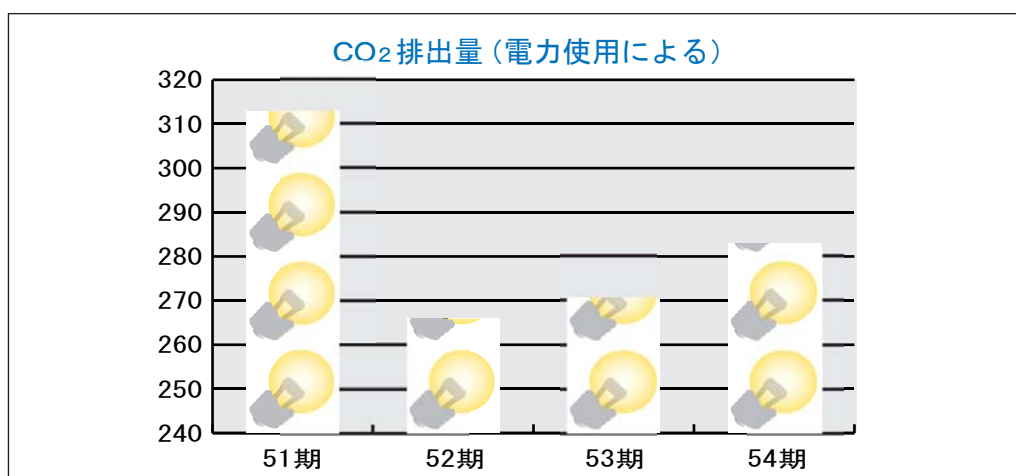
5 4 期の実績

主な活動の実績

①ー 1. 電力使用量（工場）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
5 2 期比 4 %削減	312.9	265.9	270.6	283	×
	—	—	1.8%増加	6.4%増加	

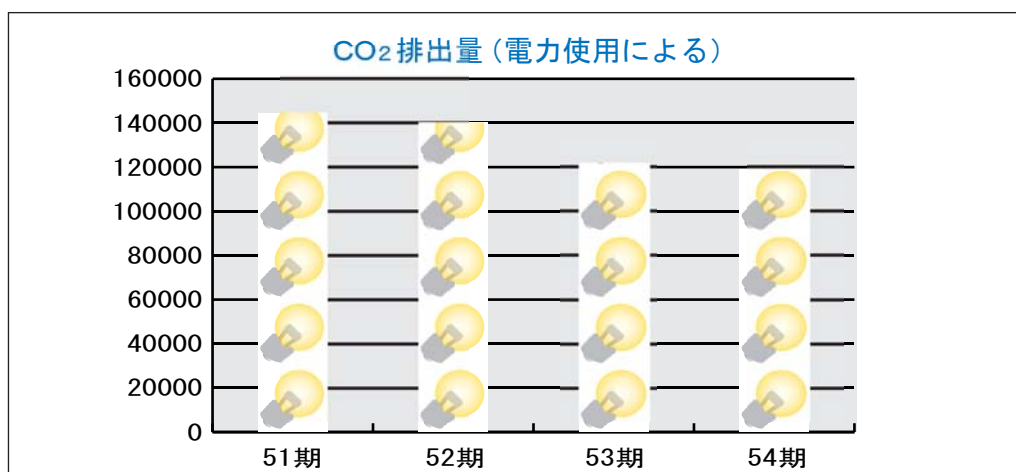
*単位：k g (CO₂) / 100 万円 (生産額 100 万円当りの使用電力より発生する CO₂ 排出量)



①ー 2. 電力使用量（オフィス）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
5 2 期比 4 %削減	144,574	140,239	121,770	119,095	○
	—	—	—	15%削減	

*単位：k g (CO₂)



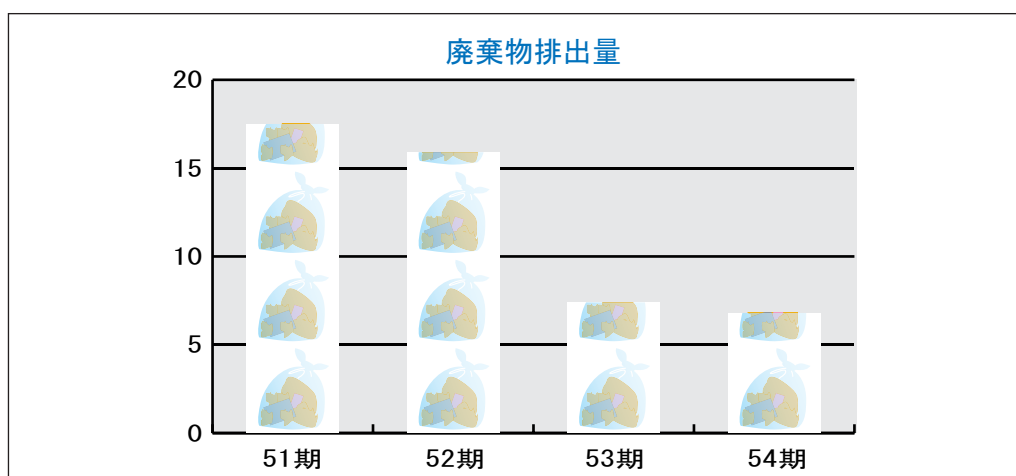
5 4 期の実績

主な活動の実績

②. 廃棄物排出量(工場)

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
5 2 期比 7.5 %削減	17.5	15.9	7.4	6.8	○
	—	—	53.5%削減	57.2%削減	

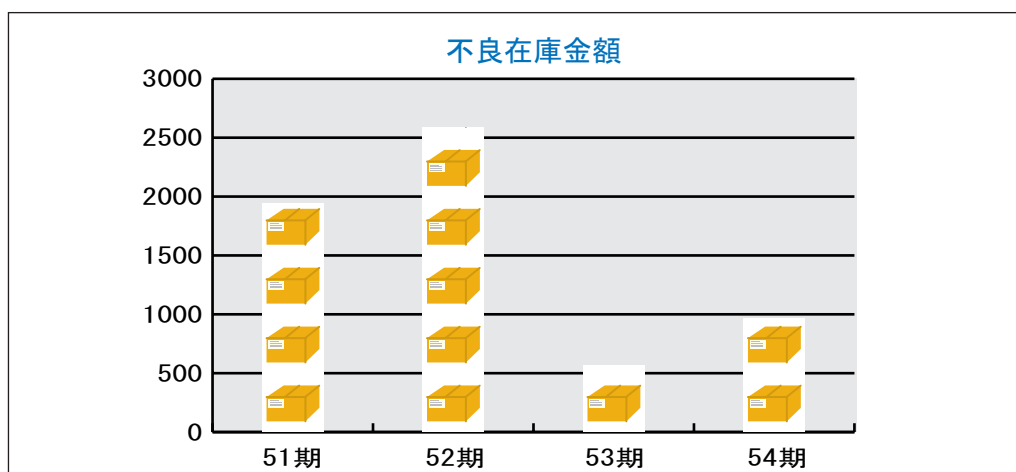
*単位：k g / 100 万円（生産額100万円当りの廃棄物排出量）



③. 不良在庫金額（オフィス）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
5 2 期比 7.5 %削減	1,941	2,587	568	966	○
	—	—	78.0%削減	63%削減	

*単位：万円



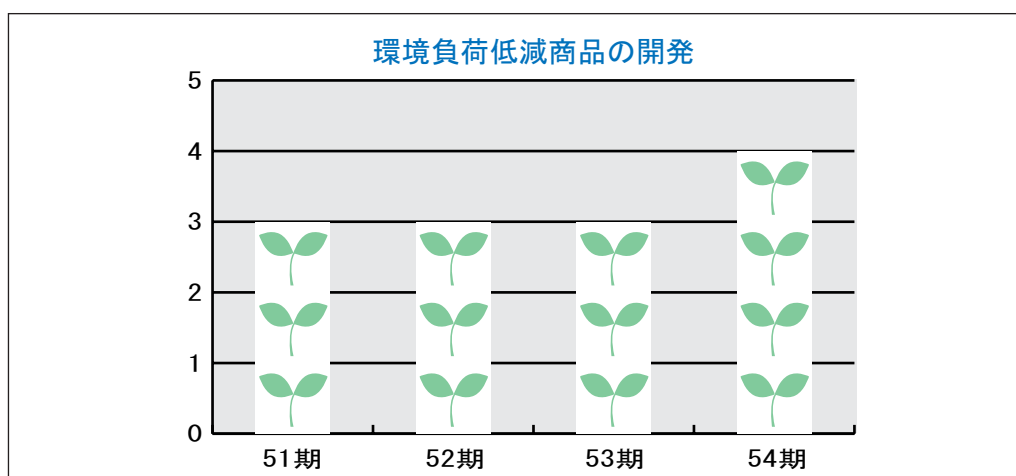
5 4 期の実績

主な活動の実績

④. 環境負荷低減商品開発（オフィス）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
年間5件以上の開発	3	3	3	4	×
	—	—	達成率60%	達成率80%	

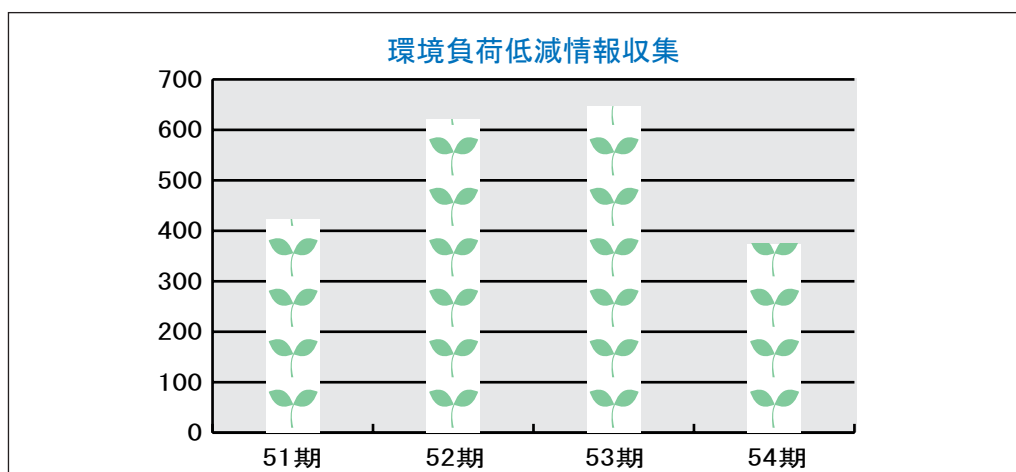
*単位：件



⑤. 環境負荷低減情報収集（オフィス）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
年間360件以上の情報収集	422	621	646	374	○
	—	—	達成率179%	達成率104%	

*単位：件



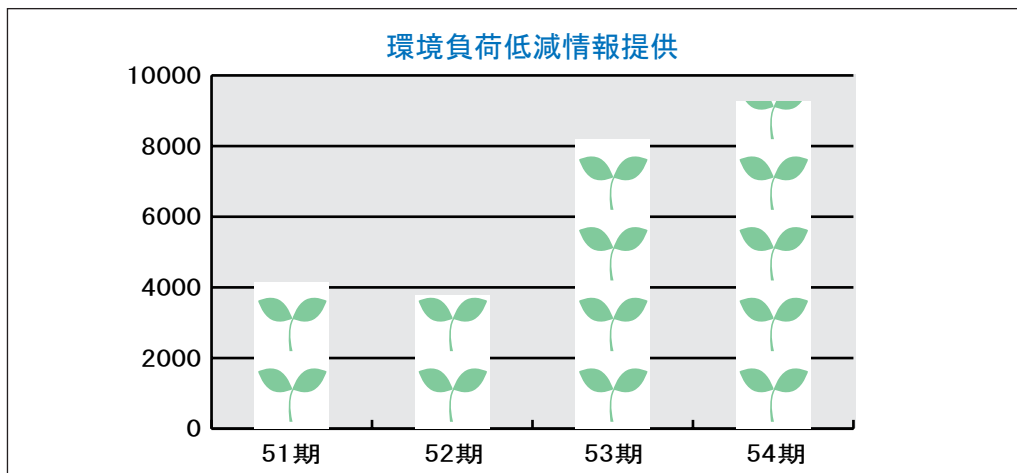
5 4 期の実績

主な活動の実績

⑥. 環境負荷低減情報の提供（オフィス）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
年間5,000件以上の情報提供	4,150	3,774	8,178	9,254	○
	—	—	達成率164%	達成率185%	

*単位：件

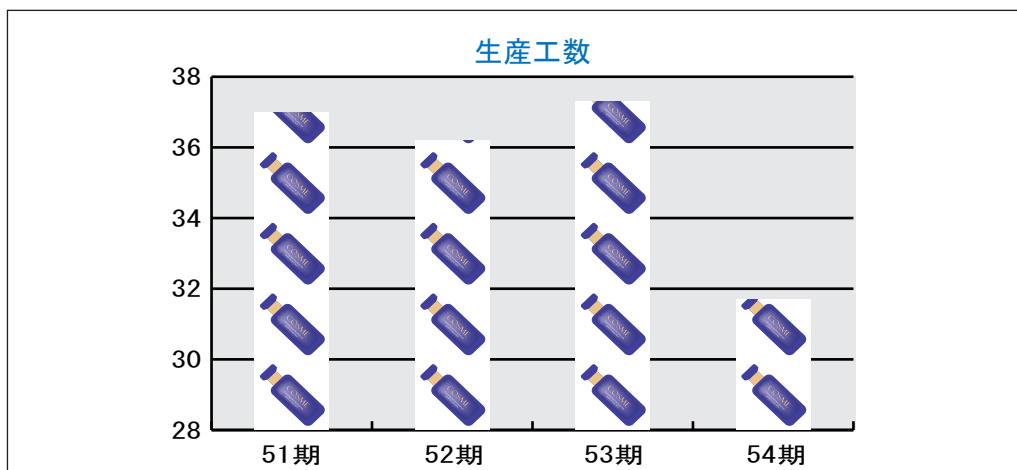


⑦. 包装機械稼働効率の向上

(1) 生産工数の向上（栃木工場）1号機

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
37.7時間/1000個以下	37.00	36.20	37.30	31.70	○
	—	—	1.1%削減	16%削減	

*単位：時間／1000個



5 4 期の実績

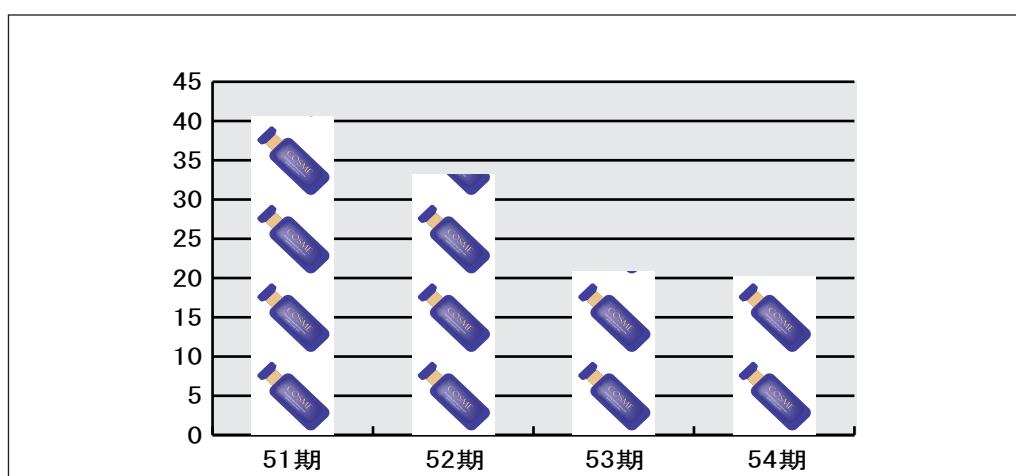
主な活動の実績

⑦. 包装機械稼働効率の向上

(1) 生産工数の向上（栃木工場）2号機

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
18.6時間/1000個以上	40.62	33.23	20.81	20.25	×
	—	—	13.1%増加	8.9%増加	

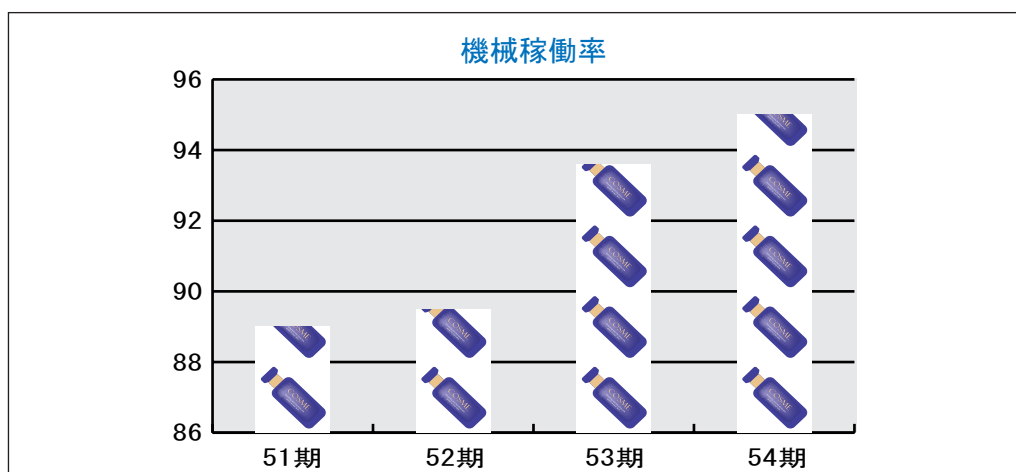
*単位：時間／1000個



(2) 稼働効率の向上（大宮工場）A号機

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
95%以上	89.0	89.5	93.6	95.0	○
	—	—	達成率103%	達成率100%	

*単位：％



5 4 期の実績

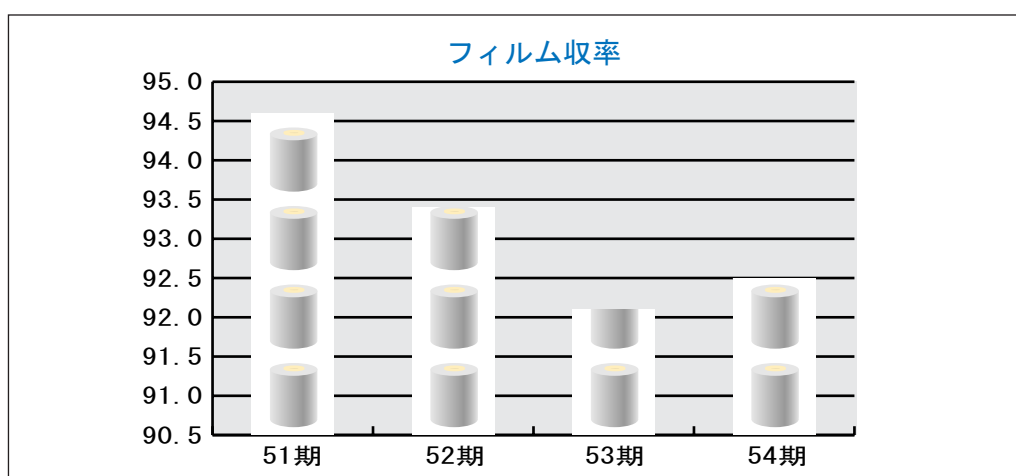
主な活動の実績

⑧. 資材収率の向上

(1) 1号機用フィルム（栃木工場）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
93%以上	94.6	93.4	92.1	92.5	×
	—	—	達成率99%	達成率99.5%	

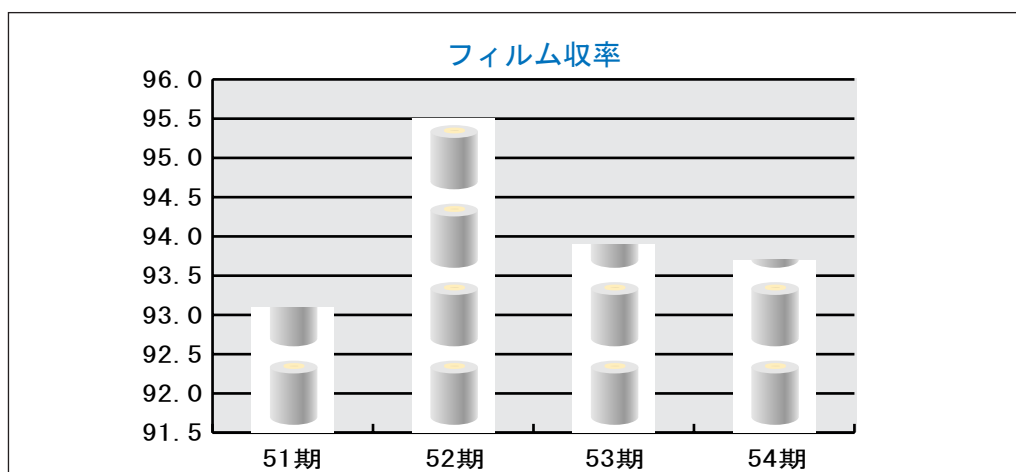
*単位：％



(2) 2号機用フィルム（栃木工場）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
93%以上	93.1	95.5	93.9	93.7	○
	—	—	達成率101%	達成率100.7%	

*単位：％



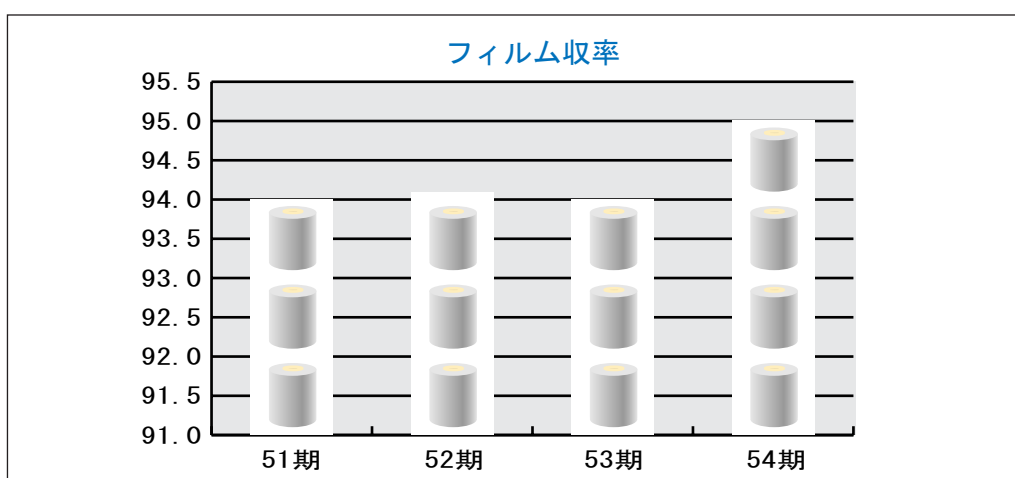
5 4 期の実績

主な活動の実績

- ⑧. 資材収率の向上
(3) A号機用成形材（大宮工場）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
94%以上	94.0	94.1	94.0	95.0	○
	—	—	達成率102%	達成率101%	

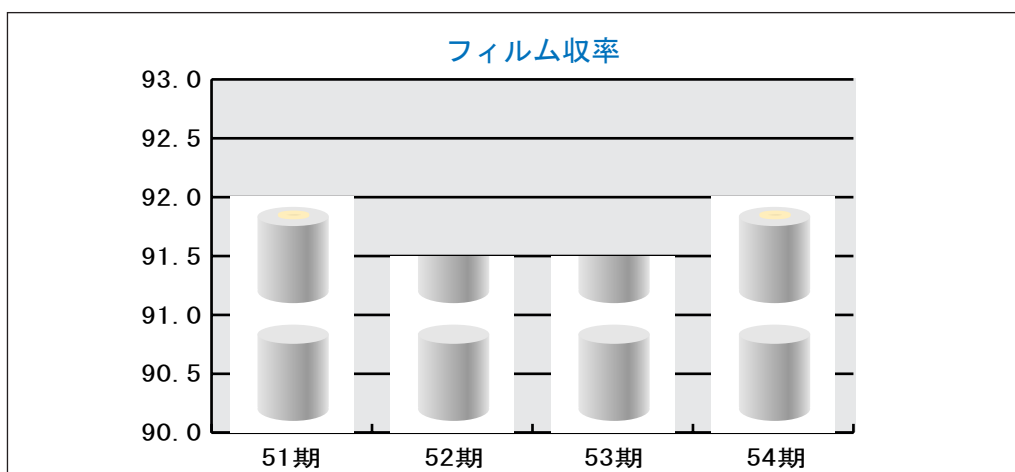
*単位：％



- (4) A号機用シール材（大宮工場）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
92%以上	92.0	91.5	91.5	92.0	○
	—	—	達成率99%	達成率100%	

*単位：％



5 4 期の実績

主な活動の実績

⑧. グリーン購入の推進（工場、オフィス）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
グリーン購入品目 80%以上	—	—	76.3	81.0	○
	—	—	達成率117%	達成率101%	

*単位：％

⑨. 温室効果ガス削減活動（営業部門）

5 4 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	5 4 期	目標達成
削減量200g/日以上 の人が80%以上	—	—	95.5	98.0	○
	—	—	達成率119%	達成率123%	

*単位：％

*営業部門ではガソリン、コピー用紙、電力使用量を削減することにより温室効果ガスの排出量を削減する活動を実施しました。

各自で削減活動を設定し、目標をクリアできたかどうかチェックしました。

200g/日をクリアできた人が80%以上いれば目標達成としました。

法令順守

法令の順守は社会に支えられてこそ存続可能な企業にとって最低限の責務といえます。

当社に適用される法令はもちろん、関連する法令の順守も常に心がけ、5 4 期も活動しました。

カナエに適用される環境関連法令は以下の通りです。

- ①廃棄物関連：「廃棄物処理法」
- ②リサイクル関連：「容器包装リサイクル法」、「家電リサイクル法」、「建築資材リサイクル法」
- ③騒音、振動関連：「騒音規制法」、「振動規制法」
- ④水質関連：「下水道法」、「水質汚濁防止法」、「浄化槽法」
- ⑤その他「消防法」、「工場立地法」、「フロン回収破壊法」

があります。

さらに関連の条例も順守対象となります。

環境関連の法規制は世界的な環境保全推進の中で、頻繁に改正が実施されるため
改正情報を早急に把握することが必要です。

当社では年4回、関連法規制改正の最新情報を調査し、順法の定期評価を実施しました。

5 4 期は定期評価の結果、適用される法規制全てにおいて規制順守を確認しました。

お得意先とのかかわり

カナエはお得意先との意思疎通を図るため、種々の活動を行っています。
ここでは54期、特に積極的に取り組んだ活動についてご紹介したいと思います。

1. CS（顧客満足）活動

カナエは企業理念・経営基本方針の基軸にある「顧客満足経営・顧客第一主義」の実現イメージをより具体的な表現にしたものをスローガンに掲げ、全社一丸となり、顧客満足を追求しています。

スローガン

【お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる】

カナエは顧客満足経営を通じて次の3項目を実践しています。

①顧客に満足される品質（商品、受託商品、設備、サービス、社員の資質）向上を図る。

お客さまより支持をいただき、選んでいただける質の高い商品、質の高いサービスなどはどのようなものかを明確にし、その実現を図ってゆきます。

②顧客第一主義という考え方を組織の最前線まで浸透させる。

質の高い商品、サービスに対し各部門での具体的検討、作業を通じて顧客第一主義の考え方をそれぞれの課員全員が理解し、その視点で常に自分の業務を見直し、遂行できる企業風土を培ってゆきます。

③顧客満足活動を通じて社員の力を結集させ、活力ある集団をつくり、縮小均衡からの脱皮を図り、永続的に発展し続ける基盤をつくる。（ES）

顧客満足経営の強化というベクトルの一本化により働き甲斐のある社風を構築するとともに活力ある戦う集団をつくり、飛躍できるカナエをつくり、更なる顧客満足を追求してゆきます。

2. 情報の提供

54期も前期に引き続き、お客様に対する情報提供を積極的に実施しました。

1つは環境関連の情報を掲載した「e情報」、もう1つは包装関連の情報をまとめた「P情報」です。

54期はe情報の配布件数がトータルで5,080件、P情報は4,174件の実績をあげました。

お客様への情報提供、特に包装に関する情報提供は包装を生業とするカナエとしては社会的責任であると考えております。今後とも、有益な情報発信をお客様をはじめとする利害関係者に実施してゆきたいと考えます。

お客さまのご意見・ご要望をお聞きする機会

- * 営業員による企画提案活動
- * お客さまの査察への積極的な対応
- * H P ・ E x - N E T（お客さま専用HP）などによる問い合わせ対応
- * 包装技術開発研究所による共同開発など



従業員とのかかわり

54期は前期に引き続き従業員に対して総務部門を中心に安全衛生への配慮、社内報によるコミュニケーションの実施及び従業員のスキルアップのための支援を実施しました。

1. 安全衛生

安全衛生への取り組みは本社、栃木工場及び神戸工場の3事業所にて、それぞれ安全衛生委員会を設置して取り組んできました。

その主な取り組みは

- ①. 毎月の活動計画に基づく月次巡視の徹底
- ②. 作業環境測定の実施（騒音、照度）
- ③. ヒヤリ・ハットの推進
- ④. 豚由来の新型インフルエンザ対策

でした。

その他の活動として例年実施している消防訓練、産業医の講演、安全運転講習会、応急手当講習会など社員の安全衛生意識向上を啓蒙するための活動も行いました。

特に新型インフルエンザ対策については事業継続計画を策定し、従業員向けのマニュアルを作成・配布しました。

2009年5月から大流行した豚由来の新型インフルエンザ対策については、上記の計画・マニュアルを参考にし、手指消毒の徹底、出勤時の体表面温度測定による健康チェック体制の強化、非接触式体温計の導入等、全従業員に施設入場時の手洗い・うがい・全社を挙げての感染拡大対策を講じ、本人又は家族の感染状況については毎月の安全衛生委員会で報告し、感染状況の監視に努めました。

また、54期より3事業所に安全衛生委員会が設置されたことを受け、各事業所の意思疎通を図るためテレビ会議システムを用いて3事業所合同での安全衛生委員会を開催しました。

2. 社内報の定期刊行

54期は4回／年の定期刊行し、従業員及びその家族の方々とのコミュニケーションを図りました。

環境に関しても「身近な環境問題」をテーマとして取上げ、啓蒙活動を実施しました。54期に掲載した内容は次のとおりです。

＊活動期間：2008年11月～2009年10月

発行月	掲載内容
11月 (2008年)	「ISO14001について（第2回）」 2009年9月の1回目につき、2回目として規定のアウトラインについて記載しました。
3月 (2009年)	「ご存知ですか？うちエコ」 家庭内における衣食住から省エネ啓蒙を記載しました。
5月 (2009年)	「2008年環境家計簿実施結果報告」 家庭内での温室効果ガス削減の啓蒙として実施結果報告とCO2の削減効果の有効性について記載しました。
9月 (2009年)	「ヒートアイランド現象」 打ち水効果等、気温上昇の防止策に関して記載しました。

身近なテーマを選定し、だれにも理解できるよう平易な表現をしました。

このため各従業員の環境に対する知識も多いに向上したと思います。

今後とも社内報をツールとした従業員とのコミュニケーションを図ってゆきたいと思います。

その他利害関係者とのかかわり

カナエは、環境保全の重要性を利害関係者に知ってもらうために教育・啓蒙等の活動を継続して積極的に行っています。

○2009年インターフェックスジャパンへの出展

昨年の2008に引き続き、2009年7月1日から3日まで、東京ビックサイトにて開催されましたインターフェックスジャパンに出展致しました。

環境負荷低減商品を展示し、来場されたお客様に地球環境保全の重要性をPRしました。



展示ブース



安全・安心の医薬品包装等のご紹介

○お取引先、製造委託先への環境保全活動実施の啓蒙

54期も53期に引き続き、お取引先、製造委託先に対しての環境保全活動推進の啓蒙を実施しました。

東京支店では年2回、お取引先様にご参集いただき、環境保全活動の重要性を啓蒙し、環境認証取得を促す活動を実施しました。

品質保証部門では53期に引き続き、お取引先、製造委託先の製品の品質レベルアップのための教育啓蒙活動を実施し、品質向上に努めました。

製品品質の向上は不良品の発生を防止し、廃棄物排出量の削減に寄与します。

そのため、この活動を来期以降、継続的に実施してゆきたいと考えています。

○お取引先運送車、配送委託先運送車への環境負荷低減の協力要請

生産管理、流通センターでは53期に引き続き、構内に入出するお取引先、配送委託先の運送車に環境負荷低減への協力要請を行いました。

活動の内容としては「アイドリングストップ」の協力要請、「エコカー」導入の継続実施しました。

今後の活動について

2010年より施行されます省エネ法ではカナエも第2特定事業者指定が予測され、今まで以上にエネルギー管理について責任を重く捉え、G H G排出量の抑制、低減に努めなければならないと痛感しております。我が国のCO₂排出量は今だ増え続けており、各企業が夫々目標を以って削減努力を続けるのが急務とされております。

カナエにおいては自然エネルギーの使用や省エネ機器の導入など検討の余地もあり、社内運営上ではムダ・ムラ・ムリの排除を従業員一人一人へ意識付けし、改善を行って参りたいと考えております。

カナエの企業理念の「地球環境保全をベースとした企業活動を行う」を基軸とし、今後も更なる削減に向けて環境負荷低減活動を推進してまいります。

その活動の成果は今後とも引き続き、環境報告書にて広く、外部に公開させていただきたいと考えています。



Life Care & Produce